

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人宗友福祉会 児童発達支援事業所 いゆ しおさい						
公表日	令和7年2月28日						
利用児童数	令和7年1月31日 現在定員15名 利用者数14名 回収10名 未回収4名						
回収数	回収数						
チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	8	3		・部屋がいくつかあり、子どもたちが窮屈にならないよう工夫されている。 ・法律の基準に沿っていると思う。 ・人数が増えるにつれスペース的に狭くならない心配。 ・立地的に難しいが、園庭があればもっと良いと思う。	・園庭におきましては、立地上、設備は、難しいと思われる。代わりに、近隣の公園や児童館等様々な環境のよい利用施設がございますので、そこを有効に活用していきたいと思っております。	
	2	8	2	1	・子どもたちに目が行き届く、十分な人数だと思う。 ・法律の基準に沿っていると思う。 ・子どもの人数に対して職員何名必要なのかはつきりわからない。 ・子どもの人数が増え、子どもが外に出そうになった時がかなり大変かと思ってしまう。	・人員体制におきましては、利用契約時にお渡ししております重要事項説明書のご確認をお願い致します。 ・子どもさんが外へ出そうになった時の対応におきましては、入口に施設を実施して安全に配慮を努めて参りたいと思っております。	
	3	10	1		・自分の持ち物を置く場所など写真を使って分かりやすくしている。 ・ホワイトボードやカードを活用して配慮してくれている。 ・言葉や絵で何の部屋なのかが分かりやすくしている。 ・クールダウン等で使用できる個室など配慮されている。 ・駐車場と玄関が近く、車道も近いので、もしもの時が怖いと感じる。	・駐車場と玄関との間の安全配慮におきましては、車道もあるため、支援者側も十分に配慮させて頂きますが、保護者の方々におきましては、子どもさんの安全におきましては、事業所側と十二分に協力して、安全配慮をお願い致します。	
	4	8	3		・いつききれいな環境で換気も十分されている。広さも十分活動できる空間だと思う。 ・エアコンの使用で室内温度の管理をしている。 ・以前病院だったため少し閉鎖的と感じるが、清潔で楽しい空間で過ごせていると思う。 ・玄関の土足エリアが分かりにくく、子どもの行き来があるため周辺の清潔を維持するのは難しい。	・構造的なものもありますが、できる限り、エリア分けを行い、清潔を維持して参りたいと思っております。	
適切な支援の提供	5	10	1		・ポータープログラムを取り入れており、家庭でどのような取り組みをすれば良いか分かりやすい。 ・子どもがどうしたらやる気になってくれるか考えて行動してくれている。 ・専門的な視点からよく見てくれて、親でも気づかなかった本人の特性を知る場面もあった。 ・具体的にどうすればできるよくなるよといったはつきりした答えがない為難しい。		
	6	11			・ポータープログラムに基づき、子どもの特性に合わせた支援になっている。 ・発達段階に応じて適切に支援できていると思う。		
	7	11			・良い所も悪い所も見てくれて、良い所を伸ばしてくれる。 ・中、長期目標を立て、保護者の意見を聞き、双方同意の上で支援計画されている。 ・子どもの特性や家での様子などを話し合い、ニーズを汲み取ってくれた支援計画になっている。 ・子どもの特性を理解し、保護者の意見を取り入れながら作成してくれている。 ・月一回個別支援を受けられるので子どもに合った支援が受けられている。		
	8	11			・悩みを伝えると「こうしてみたら」等提案してくれて、一緒に悩んで解決しようとしてくれる。 ・それぞれの領域ごとに細かく設定されている。 ・具体的な支援をしてきている。家族にも寄り添っていている。		
	9	11			・毎月の成長がみられるので、適切に指導してくれていると思う。 ・子どもの今や支援計画に合わせて支援がされている。 ・各目標項目ごとの支援計画が受けられている。		
	10	10	1		・外で遊んだり、お菓子を作ったり、子どもの楽しみを増やしてくれている。 ・日々様々な活動を設定して、普段できない大人の経験をさせてもらっていると感じる。 ・色々な所へ外出したり、クッキングしたり、経験ができて楽しそうに良いと思う。 ・毎月活動予定表を受け取り、内容を考えてくれている。		
	11	2	2	3	4	・天使園へ行って汽車に乗った際に、交流があったのかは分からない。 ・あったらいいと思う。 ・行ったこと、実施したことが無い。	・交流におきましては、地域事業所と連携をとりながら、移行支援、交流学習等、今後幅広く個々のニーズ等に合わせ、実施して参りたいと思っております。
	12	10			1	・丁寧に資料を使用して説明してもらい、不安はない。	
	13	11				・丁寧に資料を使用して説明してもらい、不安はない。	
保護者への説明等	14	10	1		・子どもとの関わりで分からないことがあると都度話をしてくれる。 ・ペアレントプログラムに参加させてもらいとても勉強になった。今後も参加していきたい。 ・月一回お話し会をしてくれており、関わり方や園での子どもの様子など色々な事が知れて勉強になる。 ・土曜日開催をしてくれてありがたい。		
	15	10	1		・アプリや送り迎え、電話連絡などで子どもの様子を伝えてくれるのでよくわかる。 ・体調不良で欠席した場合に連絡を頂き、状況確認をしてくれる。 ・駐車場が混んでいたり子どもが早く帰るため話ができないことがある。		
	16	9	2			・毎月話せる時間を取ってくれているのでその時に相談できる。	
	17	10			1	・共感的支援は良くしてもらっている。否定されたと感じた事は無い。 ・否定せず聞いてくれるので、何でも相談できる。	
	18	2	3	6		・お話し会の後に保護者との交流を持てたのは良い機会になった。 ・事業所から交流のきっかけ作りを促してくれていると感じる。 ・保護者同士の交流は月1回の話し会後だけでは取りずらく、交流の機会が欲しい。 ・きょうだいの交流する機会がない為、今後設けてほしい。 ・行事などがもう少しあっても良い。 ・保護者会の運営はしていない。	・行事におきましては、事業所側の運営状況に合わせて、今後、検討させて頂きたいと思っております。 ・保護者会の運営におきましては、年度始めに保護者代表の方を決めて、進めておりますが、今後におきましては、幅広く活動の実施を考えていきたいと思っておりますので、ご協力を頂けたらと思います。
	19	9	2			・入園前から今に至り、十分に対応頂き感謝している。 ・適切に対応してくれていると思う。 ・いつでも電話対応してくれるので安心感がある。	
	20	11				・迎えに行く去何をしたか、どうだったか必ず言ってくれるのでコミュニケーションを取りやすい。	
	21	10			1	・毎日連絡アプリでその日の活動状況を写真や文章で見られる。 ・分かりやすく発信されていると思う。 ・行事や感染対策について定期的に発信されている。	
	22	10	1			・自分の子どものことに対してのみ教えてくれるので、気遣ってくれている。 ・配布物の間違えもなく、十分留意されている。 ・個人情報を取り扱う場合は保護者の同意を得ている。 ・クラス名簿がない為、名前を覚えるのが大変。	・クラス名簿等におきましては、個人情報の観点から、提示は控えさせて頂きたいと思っております。ご理解の程よろしくお願致します。
非常時等の対応	23	9		2	・何が起きてもしいように様々な訓練をしている。 ・各種マニュアルや訓練については把握していない。	・毎月1回各種マニュアルや安全計画に基づき、訓練の実施をし、コロナ禍にて報告をさせて頂いております。具体的な質問等があれば、遠慮なく聞いて頂けたらと思います。	
	24	10		1	・月末に訓練を実施しているのを連絡アプリや月予定表で確認している。 ・防災訓練はしっかり実施されている。 ・避難訓練を実施した際に、子どもがどのように訓練をしたのか話してくれる。家庭でも防災について話し合い機会になっている。		
	25	8	1	2	・玄関の鍵を毎回しっかり閉めることで子どもの飛び出しを予防したり、屋外での活動では複数職員で対応しており、安全に配慮している。 ・何人体制でその都度行っているのか。	・人員体制におきましては、利用契約時にお渡ししております重要事項説明書のご確認をお願い致します。	
	26	10		1	・日頃から何かあると教えてくれるため、不安はない。 ・怪我や事故の発生時に説明と今後の対策を提示してもらった。 ・連絡が早く、状況説明等も客観的事実に基づいている。 ・今日はこういった事故が起きた等の周知がない。	・事故等におきましては、個別に対応させて頂いております。(状況発生時の説明、発生時の対応と再発防止策、行政機関、関係機関(相談員等)への報告等)なお、集団での事故や、集団感染症等におきましては、コロナ等や当事業所で説明と、今後の対応等をご報告させて頂きませんが、現在は、集団説明の状況には至っておりませんので、ご理解の程よろしくお願致します。	
満足度	27	11			・先生たちが大好きなようで、嬉しそうに話してくれる。 ・1日の出来事を笑顔で教えてくれて、明日も行くと言っている。 ・先生のことを理解して信頼している。安心感を持ち通園できている。		
	28	9	1	1	・保育園に行きたくないということがなくなった。 ・毎日、帰ってくるたびに話をしてもらえるようになり、楽しく過ごしているのが伝わってくる。 ・連絡帳の写真を見ながら今日の出来事を教えてくれる。子どもの笑顔を見るのが楽しみ。 ・家で「保育園いいや」と言っているが、行くとなんか楽しそうに見える。	・家庭でのお子さんの様子や、ご家族の方々でご相談等がありましたら、遠慮なく連絡を頂けたらと思います。24時間対応、土日祝日遠慮なく連絡を頂けたらと思います。24時間対応については、保護者の方々へ連絡先をお伝えしていると思っております。	
	29	11			・大事な時期に共に支えてくださり、とても感謝している。 ・すぐ共感的に関わってくれて子どもも楽しく通園しているため満足している。 ・他の事業所がどんなことをしているか分からないが、満足している。 ・個別支援があるため、本人への支援や園での流れなどが見られる。	・今後におきましてもお子さんに丁寧に対応していきたいながら、保護者の方々、ご兄弟等の子育てのお手伝いできればと思いますので、家族として「いゆ しおさい」をよろしくお願致します。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 いゆ しおさい		公表日		令和7年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動内容や人数によって部屋の使い分けを行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	利用定員に応じた職員配置をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	活動カレンダー、活動スケジュールを事前に提示し、見通しを持った活動ができるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日清掃を実施しています。また、水曜日と金曜日は床をアルコールでふき取って消毒を実施しています。日々加湿、空気の換気等感染防止対策に努めています。活動空間におきましては、活動内容に基づき、空間を使い分けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別室・検査室を設置し、子どもが課題に集中しやすい環境を作っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	行事事業計画を作成し、取り組みと反省を職員会で周知し次に生かしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	今回、1回目の保護者向け評価を実施しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	月に一回の職員会で意見交換を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	第三者評価は、実施予定ではありますが、現状は実施しておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	各職員が研修に参加できるように研修会への参加年間計画を作成しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムの作成においては、作成をしており、それに基づき、支援を実施しています。支援プログラムは、保護者には、公表をして書面で渡していますが、ホームページ等の公表は令和7年4月公表予定としています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	相談支援専門員の作成したサービス等利用計画書から、保護者と子どものニーズを汲み取り、アセスメント、発達検査、児童発達支援ガイドライン、ポーターズ早期教育プログラム、保育所保育指針等から、子どもの課題を抽出した支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援担当者（担任）決めて、管理者・児童発達支援管理責任者と共に計画を作成しております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援計画書及び支援記録においては、全支援者が閲覧、記録ができるように共通したシステムを使用しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	ポーターズ早期教育プログラムを取り入れ、客観的に見た共通した子どもの状況をアセスメントしています。また、個々の特性にあわせたインフォーマルなアセスメントを実施して個々のストレングスを確認していきながら、支援の提供に努めています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	支援計画書には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の項目を具体化して支援計画書に取り入れ、その項目に合わせて、具体的な支援内容が設定され、支援提供がなされています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	翌月の活動プログラムを全職員で立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	季節に合わせた活動や、子どもの状況に合わせた多層水準指導を行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動におきましては、月1回程度、保護者通園により支援計画書に児発ガイドラインを参照して具体的に取り入れ、実施して、集団活動におきましては、保育所保育指針を参照して支援計画書に記載し、支援にあたっています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼後に当日の活動の確認、役割について話をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼の際に、当日の子どもの様子、保護者とのやりとり、その他特記事項について情報共有をしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	児童発達支援計画に沿った支援記録を記入しています。また、家庭支援の内容や関係機関との連携についても記録へ記載をしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	9月、3月にモニタリングを実施し、ポータルページ発達経過表を家庭と共有しています。事業所での様子、家庭での様子を細かく記載し、次回支援計画の作成に繋げています。場合により、その都度、支援の変更等にも状況に応じて対応しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	担当職員、児発管、場合により、管理者等が必ず参加をするようにしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	行政、保健機関、保育教育関係との連携を大切に、密に連携を取っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	地域への移行の保護者の意思や子どもの現状に合わせて、交流保育等の実施をしています。また、就学に向けた学校見学や手続き、引き継ぎなどのサポートを行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	小学校の事前見学、教育相談の説明、引継ぎ資料の作成と実施など、保護者へ丁寧に説明を行いながら実施しています。就学先の教員の方々にも事業所を訪れて頂き、本人の様子等見て頂き、しっかりと移行ができる体制を整えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	地域のみならず、様々な児童発達支援センターとの連携、情報共有を行っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	地域への移行の意思や子どもの現状に合わせて、交流保育の実施をしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送り迎えの際や、個別活動の際に保護者と子どもの様子について情報共有を行っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	年間計画を作成し、保護者向けの研修会「おはなし会」を事業所内で実施しています。また、ペアプロへの参加も促しています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	利用開始前に、重要事項説明・契約と併せて説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	相談支援専門員の作成したサービス等利用計画から、保護者と子どものニーズを汲み取っています。また、児童発達支援計画書を説明する際に保護者の意向について改めて確認し、できる限り計画へ反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	保護者へ直接確認を行い、同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	家庭からの相談に応じて丁寧な対応を心がけています。また、月1回の保護者通園の個別支援の際には、保護者からの相談がない場合も、事業所側が発信して、子育ての相談ができる体制を構築しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	保護者会の設置を希望する声も上がっていますので、設置を検討しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	できる限り早いレスポンスで保護者が安心できるように対応することを心がけています。基本的には、土日祝祭日、24時間の相談支援体制を構築しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	活動報告についてはアプリを使用して毎日写真と文章で発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	名前や写真など、外部への漏えいが無いように留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	1番子どもの為に何が良いのか、家族に大きな負担無く過ごせるのかを前提に話をするように心がけています。アプリを使用して、個別に情報伝達や意思の疎通ができるよう、配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		地域住民を招待する等は実施していません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルを作成し、アプリのメッセージ機能や紙面にて保護者へ周知を行っています。また、安全計画に沿った消火訓練並びに各種訓練を毎月実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを策定し職員間で共有しています。備蓄を用意し、避難場所への避難訓練を年1回以上行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	利用開始前のアセスメントの際に、服薬状況・てんかん発作・熱性けいれんの有無など健康状況を書面上に残し、支援の統一を図っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	利用開始前のアセスメントの際に、アレルギーについてのチェックシートを記入してもらい、医師の診断、指示書に基づき食事対応をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、保護者にも配布、周知しています。安全計画に沿った避難訓練、研修を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	外出時の子どもの所在確認について、子どもの状況に応じて場合により担当職員を配置しています。点呼についても担当職員を決め、外出時には5分に1回の点呼を行うようにしています。	安全計画に基づく取り組み内容については、実施記録簿を作成して実施し、変更等があれば、改善しています。取り込み内容や、実施報告内容等を保護者の方にも連絡帳やお知らせにて情報提供しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事故報告書、ヒヤリハットの作成、共有を行っています。確認した職員は押印をして、全職員が閲覧できるようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修へ参加した職員が、事業所内研修として虐待防止・身体拘束研修を実施しています。また、毎月職員会時に虐待防止等委員会を実施して不適切な保育がないように努めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	虐待防止研修へ参加した職員が、事業所内研修として虐待防止・身体拘束研修を実施しています。	現在、身体拘束の対象になる子どもはいません。